

先度者又次郎所へ
隼之鷹被遣之候、
於我等も令祝着候、
又次郎一段秘蔵仕候、
如仰先年於高麗
別而申談候、於于今
御床敷存候、佐々木
豊前かたへ御紙面
具二令被見、驚人候、
今程其元自在身
之由一円不承存候
程進之事二候間、
自然者爰元へも
御成事候者可為祝
着候、猶追而可令
申候、恐々謹言

吉蔵人

十二月廿三日 広家（花押）

（意識・現代語訳）

先日は、又次郎（広正）の所へ

隼の鷹はやぶさを送ってくれたことは、

私たちにとっても大変喜ばしいことである。

又次郎は、（隼の鷹を）とても大切に
するだろう。

命令により、先年（出兵した）高麗
（朝鮮）の地で話をしていたことが、
今となつては懐かしい。佐々木豊前へ
預けられた（あなたの）手紙を見て、
大変驚いた。

今は、そなたも隠居の身であること
をまったく知らなかったが、もしもこ
ちらへ訪ねて来ることがあれば喜ば
しいことである。なお、追って伝えさ
せる。恐々謹言。